

2024 年度「土木学会インフラメンテナンス チャレンジ賞」の受賞について

- 東日本旅客鉄道株式会社と株式会社日本線路技術は「AI 活用等による主要線路設備全ての劣化状態自動判定の実現」の取組にて、土木学会「インフラメンテナンス チャレンジ賞」を受賞しましたのでお知らせいたします。

1. 「インフラメンテナンス チャレンジ賞」とは

土木学会が創設したインフラメンテナンス 分野の表彰制度の一つで、点検・診断、設計、施工・マネジメント等の個別または組合せ技術を駆使し、地域のインフラメンテナンスに寄与した取り組み等を表彰する制度です。

2. プロジェクト内容・受賞理由

日本線路技術では、線路設備の画像から各設備の良否を判定する業務（以下、スクリーニング業務）を行っています。本プロジェクトでは、線路の枕木、締結装置、継目板、継目板ボルト、レールボンド、といった主要線路設備すべてについて、複数のディープラーニングモデルにより構成される AI を構築し、日本で初めて良否の自動判定を実現しました。

構築した AI により、線路設備の画像から各設備の良否が可能となり、効率的なスクリーニング業務を実現した点を評価されました。

【土木学会 HP】

[土木学会 2024 年度インフラメンテナンス表彰制度_授賞決定のお知らせ](#)



2024 年度土木学会インフラメンテナンス チャレンジ賞 表彰式(当社線路 DX 事業部 柳井係長)

【お問合せ先】

株式会社日本線路技術 線路 DX 事業部 03-5284-9125